

壊れた下穴



下穴加工

市販のドリルで損傷した雌ねじ部分をきれいにさらいます。キットにはM12 (1/2") までの適切なドリルが含まれています。専用のスパークプラグタップを使用する場合、事前にドリル加工をする必要はありません。フルートレスタップを使用する場合、穴を広げる必要がありますのでご注意ください。



チェック

タップとボルトのねじ山とピッチが一致していることを確認します。

タップ立て

付属の専用タップを使用して、タップ立てを行います。タップ加工時は切削油を使用することを推奨します。



インサートを挿入する

挿入工具にインサートコイルを装着し、インサートコイルのタング側（“の”の字側）が下に来るようにして装着します。インサートコイルが全て工具先端部に入り、固定できたら装着は完了です。

挿入工具を穴に対して垂直に保ち、右回しでインサートコイルが全て埋め込まれるまで挿入します。この時にねじ山の反対方向に負荷をかけないでください。タングが壊れる可能性があります。



タングの取り外し

挿入が完了したら、挿入工具を持ち上げ、タング折り取り工具を使用してタングを折り取ります。大きなねじサイズやスパークプラグ用インサートコイルの場合は、ロングノーズプライヤーを使用してタングを取り外します。



効果

インサートコイルにより、通常新しいねじ山は元のねじ山よりも強くなります。

